

平成 31 年第 3 回久米島町議会定例会一般質問

期日 平成31年3月11日

平成31年 第3回定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	ページ	質問日程
1	吉永 浩	町民との協働の町づくり体制について	1	平成31年3月12日(火)
		介護保険サービスの基盤整備の課題について	2	
		平成31年度施政方針について	3	
		堆肥工場における堆肥の品質向上について	4	
		高校生のバス通学の運賃について	5	
2	盛 本 實	平成31年度施政方針について	6	平成31年3月12日(火)
3	喜 久 里 猛	平成31年度施政方針について	7	平成31年3月12日(火)
4	崎 村 正 明	さとうきび振興について	9	平成31年3月12日(火)
		小中学校の教室の冷房設備について	10	
5	仲 村 昌 慧	女性の登用について	10	平成31年3月13日(水)
		女性議会について	10	
		大田昌秀先生の顕彰事業について	11	
		久米島マラソンについて	11	
6	玉 城 安 雄	31年度施政方針について	12	平成31年3月13日(水)
7	赤 嶺 秀 徳	道路環境の整備について	13	平成31年3月13日(水)
		儀間漁港の整備について	14	
		パークゴルフ場の稼働状況について	15	
		平成31年度の施政方針について	15	
8	棚 原 哲 也	施政方針施策の交通の確保について	16	平成31年3月13日(水)
		町営バスの停留所の整備について	16	
		公共施設トイレにおけるベビーチェア及びおむつ交換台設置について	16	
		学校施設における設備点検と早急な対応について	16	

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	5吉永 浩	町民との協働のまちづくり体制について	<p>①町が一丸となってまちづくりを行う体制は整ってきたか。体制づくりのため、町民との対話・意見交換の場はもったか、町長へ伺う。</p> <p>②町長自身が政治家として、発信していく考えはないか。定期的にFMくめじまを利用して、町民へ想いや、協働のための具体的内容を伝えていくことはできないか。</p> <p>③以前、郷友会と町がもっと連携して町づくりを行っていくための意見交換会を行ったと思う。平成30年度、久米島郷友会とはどのような連携ができたか。平成31年度はどのような連携を行っていく考えか伺いたい。</p>	町長	<p>①施政方針でも申し上げておりますが、全国的にも活動が評価されております「ドリ一部チャレンジ」との協働での各種取り組みによって、徐々にではございますが体制は整ってきているものと考えております。さらに取り組みを広げていくためには町民との対話・意見交換は必要であると考えておりますが、30年度では実現できませんでした。</p> <p>新年度では、是非、意見交換の場を設け、町民との対話実現に向けて調整を進めてまいります。</p> <p>②現在FMくめじまを活用した私自身での発信は、新年の挨拶を行っております。町民への発信については各種会合や集会等を通して行っておりますが、ラジオへの出演依頼があれば出演できるよう検討します。</p> <p>③郷友会との意見交換会を年1回開催しております。故郷を思い島の外から見た貴重な意見があり、反映できるよう取り組んでいます。郷友会との主な連携については、沖縄本島で開催される観光・物産と芸能フェアで共催団体として協力して頂くと共に、芸能フェアでは出演して頂く等、連携をとり開催しております。また、総会やイベント等にも参加し意見交換を行っており、今後も引き続き連携を図ってまいります。</p>	<p>①企画財政課</p> <p>②総務課</p> <p>③総務課</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
2	5吉永 浩	介護保険サービスの基盤整備の課題について	町内で居宅支援を行うケアマネ不足の課題があるが、把握しているか。高齢者や家族が安心して島で暮らせる体制を作るためには、対策をとる必要があると思うが見解を伺いたい。	町長	<p>島内のケアマネジャーは、各居宅介護支援事業所、地域包括支援センター共に慢性的に不足しています。</p> <p>対策として、沖縄県介護保険広域連合と調整して、専門職の渡航費に要する経費を補助する「離島等支援事業」を実施しています。</p> <p>現時点では、島外の1事業所が来島して業務にあたっており、今後、南部周辺離島で実績のある事業所を中心に情報収集を行い、拡充を図ってまいります。</p>	福祉課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	5吉永 浩	平成31年度施政方針について	<p>①農業の振興について、農地集積を進めていくとあるが、目標は数値化しているか。集積推進のための具体的手法を伺いたい。</p> <p>②商工・観光産業について、平成30年度は観光入域客数12万の達成は厳しいとある。これまでの取り組みの評価は行ったか。航路運賃や輸送費コストの低減について、新造船の買い取り支援と同時に運賃低減を交渉していくと先の3月議会で答弁していたが、今後どのように進めていく考えか伺いたい。</p> <p>③教育・文化の充実について、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りを持てる教育を行うとある。また、将来の久米島を担う人材育成に取り組むとある。これまでも行っているはずであるが、効果はあったのか。評価等はどのように行っていく考えか伺いたい。</p> <p>④福祉の充実について、子どもの貧困対策で調査を行うとあるが、具体的な方法は。平成31年度行うのは、調査だけなのか伺いたい。</p> <p>⑤生活基盤の整備について、霊園整備の進捗状況を伺う。</p>	<p>町長①②④⑤</p> <p>教育長③</p>	<p>①農業の振興について 平成26年度より久米島町が農地中間管理機構の重点市町村に指定されておりますが、目標の数値化はしておりません。手法としましては、農業委員及び農地利用最適化推進委員を中心に農地のだし手の掘り起こし、受け手の把握等を行い、事業の推進を行っております。</p> <p>②平成25年度に策定した「第1次久米島町観光振興基本計画」が本年度最終年度となることから、「第2次久米島町観光振興基本計画」の策定に取り組んでおり、その策定作業において、第1次計画での施策の実施状況等の振り返り・検証・評価を行っております。航路運賃・輸送費コストの低減につきましては、町単独での意見交換や要請、要望を主に行ってきましたが、国・県・町や商工会、観光協会で構成される会議が毎年開催されており、今後はそのような会議においても議題として盛り込み、低減に取り組んでまいります。</p> <p>③教育委員会では「島に誇りを心に夢を持てる幼児児童生徒の育成」をめざし、地域の教育資源を活用した授業を積極的に推進しております。これは、地域の『人、自然、施設』を、授業に積極的に活用するもので、町内の全ての小・中学校において、学習内容に関連させて実施しております。このような、地域と関連した授業を通して、子どもたちは改めて地域に関心を持ち、また地域の良さに気づき、ふるさと久米島に誇りを持ってくれるものと期待をしております。 評価につきましては、特に実施してはお</p>	<p>①産業振興課 ②商工観光課 ③教育課 ④福祉課 ⑤環境保全課</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3					<p>りませんが、小学6年生と、中学3年生が毎年実施している「全国学力学習状況調査」のアンケートで、『地域行事への参加や地域のことについて調べたり興味関心があるか』等の質問があります。本町の児童生徒は全国・県と比較しても、地域行事へ参加している児童生徒の割合や地域に対する興味関心等がある割合が高いという結果が出ていますので、これまでの取り組みについては、一定の効果ができていると考えています。</p> <p>④平成30年度において、小学校1年生～中学校3年生の全生徒（小中学校生で兄弟がいる場合は一人を選定して）の保護者への調査を行い、調査結果については、今月末までには冊子として、議員の皆様にもお配りいたします。調査項目は、沖縄県の調査票を参考に実施し、調査結果には沖縄県の調査との比較もありますので、調査結果・分析を基に平成31年度以降の取組を関係課と協議してまいります。</p> <p>⑤平成30年度に久米島町霊園整備基本計画を策定し、平成31年度には納骨堂及び取り付け道路の実施設計委託の執行をいたします。また、平成32年度においては納骨堂及び取り付け道路の建築工事を実施する計画となっております。</p>	
4	5吉永 浩	堆肥工場における堆肥の品質向上について	堆肥工場の品質をどのように評価しているか。農業の振興に資するため、堆肥の品質向上のための基準を設けるなどの方策はあるのか。	町長	<p>久米島堆肥の品質につきましては、まだまだ改良すべき点があると指摘を受けております。</p> <p>品質向上のための基準につきましては、町独自で基準を設けることは考えておりません。今後、品質向上に向けた、機械の導入や機械の更新・畜産農家の協力等も必要</p>	産業振興課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4					となります。	
5	吉永 浩	高校生のバス通学の運賃について	沖縄県では高校生のバス通学費補助が始まっている。久米島町も対象とのことだが、現状を伺う。	町長	高校生を対象としたバス通学費補助については、「ひとり親家庭高校生等通学サポート実証事業」として、平成30年10月1日より県が実施しております。「児童扶養手当または母子及び父子家庭等医療費助成受給世帯の高校生」が対象となりますが、本町では対象者が38世帯43名、うち1世帯1名が利用しております。	商工観光課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	2盛本 實	平成31年度施政方針について	<p>1. 「久米島モデル」の進捗状況について 数年前から海洋深層水など自然資源を活用したまちづくり政策「久米島モデル」実現に向けて取り組んで行くとの方針を打ち出しているが、我々町民にとっては現在に至っても事業の実態が把握できないのが実状である。同事業における現在の進捗状況と今後の取組計画について伺う。</p> <p>2. 観光振興について 平成31年度より「第2次観光振興基本計画」の指針に基づく施策がスタートしますが、「第1次観光振興計画」を振り返りその結果をどのように評価しているのか。また、新基本計画で重点的に取り組もうとしている事業の具体的な内容について伺う。次に、観光振興の担い手である観光協会の組織活動への支援をすると謳っているがその支援方法について伺う。</p> <p>3. 久米島高校の定数確保について 久米島高校の魅力化事業の一環である離島留学生受け入れ制度や地域支援交流学习センター設置等々については、一定の効果は出ているが、しかしながら未だに定数確保については危機的状況にある。今後、久米島高校の維持存続に向けて行政としてどのような関わり方をしているのか伺う。</p>	町長	<p>1. 「久米島モデル」実現に向けては、事業規模の大きさから国及び県の支援が不可欠となっています。このような状況で国（内閣府）は当該モデル事業に関連して可能性調査を実施して沖縄経済への高い波及効果だけでなく国際的にも先導的なモデルになると判断しています。沖縄県に対しても要請を続けており事業規模、内容、財源負担など県関連部局の事務方と調整を行っているところです。今後は沖縄県の取り組みを見極めながら町の対応を構築していきたいと考えています。</p> <p>2. 「第1次久米島町観光振興基本計画」については、10の方向性と38の施策を掲げ、観光振興に取り組んでまいりました。結果につきましては、38施策のうち約7割の27施策を実施しております。施策実施の成果として、平成25年度との比較で観光入域客数が約2万人増加したと評価しております。「第2次久米島町観光振興基本計画」については、最終のとりまとめ作業を行っているところですが、基本方針として3つの重点項目を掲げております。主な事業の具体的な内容としましては、「観光人材の育成・確保」「島の資源を活用した通年型観光プログラムの充実」「インバウンド対応の強化」等となっております。観光協会組織活動への支援については、観光振興計画をはじめ、町の施策に基づき観光協会において実施する事業を中心に国や県の補助事業等も活用しながら支援を行ってまいりました。今後も同様の支援を行いながら、しっかり意見交換・連携を図り支援していきたいと考えております。</p> <p>3. 現在、久米島高校魅力化支援員を町に配置しており、高校側とのパイプ役とし</p>	<p>1. プロジェクト推進課</p> <p>2. 商工観光課</p> <p>3. 企画財政課</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6					て、定期的に高校魅力化会議を校長、教頭、久米島高校の魅力化と発展を考える会、議長、PTA会長、行政間で開催しております。今後は、さらに踏み込んだビジョンを策定するとともに、高校側へも高校魅力化支援員を配置できないか検討してまいります。	
7	8喜久里 猛	平成31年度施政方針について	<p>1. 農林水産業の活性化 (1) 収入保険制度とは、どのような保険か、補助はあるか。くわしく説明して欲しい。</p> <p>2. 商工、観光産業の活性化 (3) 7月1日就航予定フェリーの船名とトン数は、又、高速船の導入に継続要請とあるが、導入の意思決定はしたのか？</p> <p>3. 教育・文化の充実 (5) 久米島高校魅力化 じんぶん館は29人で、いっぱいだが新しい寮の計画等はどうなっているか。新年度予算等に調査費の計上はあるか？</p> <p>4. 福祉の充実 安く長期滞在のできる宿泊施設の整備とあるが、公立久米島病院の産婦人科再開は断念したのか。</p> <p>6. 生活基盤の整備 (5) 安心した生活環境の推進・公営霊園の新設</p>	町長	<p>1-(1) 収入保険制度について 収入保険制度は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補填する仕組みです。 又、仕組みとしては。 ① 青色申告を行っている農業者（個人・法人）が対象です。 ② 農業者が自ら生産した農作物の販売収入全体が対象です。 ③ 保険期間の収入が基準収入の9割を下回った場合に、下回った額の9割を上限として補填されます。 ④ 農業者は、保険料・積立金を支払って加入します。 基準収入が、10,000千円の農業者が補償限度9割（保険8割＋積立1割）。支払い率9割を選択した場合の試算では。 補助後の保険料は、72,000円国庫50%補助（掛捨て）。積立金は、225,000円国庫75%補助（掛捨てではない）。合計297,000円となります。</p>	<p>1. 産業振興課</p> <p>2. 商工観光課、プロジェクト推進課</p> <p>3. 企画財政課</p> <p>4. 福祉課</p> <p>6. 環境保全課</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席 番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7			<p>の中で駐車場の拡張がないが拡張するのか？ 又、景観の配慮とは現施設の周囲のことを言っているのか。</p>		<p>また、さとうきびにつきましては、平成31年度に限り保険料を久米島製糖が助成します。</p> <p>2-(3) 事業者を確認しましたところ、新造船については船名が「フェリー海邦」、総トン数は1200トンのとの回答でした。</p> <p>高速船について 高速船導入支援については沖縄県から非常に困難との回答を得ていますが、27年度の町民及び旅行者等を対象にした調査で利用者ニーズのあることが報告されており、支援制度適用に向けて引き続き要望を行っているところです。導入の意思決定までは至っておりませんが、支援制度適用の見通しが立てば財源確保及び収支計算が可能となることから、運航事業者との協議を重ねて導入判断を行いたいと考えています。</p> <p>3-(5) 来年度におきまして、じんぶん館はほぼ満室になり、3名は里親制度での入学予定で調整を進めております。じんぶん館の年間運営費は約3千万円の一般財源を投入している事から寮費の改定も視野にいれている状況にあります。さらに過疎地域間において留学生の募集が全国的に広がりを見せていることから、今後の動向を踏まえ増設について検討してまいりますので、新年度への調査費等は計上しておりません</p> <p>4 平成20年4月以降公立久米島病院で出産ができない状況となっています。産婦人科の医師の確保が全国的にも困難であることから、大変厳しいのが現状ですが、公立久米</p>	

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7					<p>島病院の産婦人科の再開については、関係機関と連携し環境整備に努めてまいります。</p> <p>6-(5)平成31年度には納骨堂と取り付け道路の実施設計を執行し平成32年度に建築工事を執行いたします。その後に駐車場等の整備を計画しております。霊園周辺には緑化による景観形成に努めます。また、散在化する個人墓地が、土地利用計画や景観を阻害していることから、町営霊園の整備をし霊園への移転誘導を図ることによって、個人墓地の散在化抑制と整理、景観への配慮が図られると考えます。</p>	
8	4崎村 正明	さとうきび振興について	<p>ハーベスタも導入し機械化が進んでいる現状ではあるが、農家からはハーベスタ請負料金が高く利用できないと言う声がかかなり多く聞こえる。</p> <p>本町は、年々高齢化が進みさとうきびの生産が厳しい状況にもかかわらず他の地域と比較するとハーベスタ収穫率が低く料金も割高である。ハーベスタ業者に言わせると、土地がせまく立地条件も効率も悪い為、割高になっているということのようである。私が思うには、ハーベスタ業者だけに料金を安くさせるのは厳しいものがあると思う。</p> <p>今後、機械化推進の流れは変わらないと思う為、行政が中心となり久米島製糖、JA久米島と3者で協議しハーベスタ請負料金を助成する必要があると思う。</p> <p>3者で助成することでハーベスタ業者に対しても低減交渉ができると思います。そして、単収の良いキビの収穫も増え農家、ハーベスタ業者の所得増につながると思う。</p> <p>本町としてハーベスタ請負料金を助成する考えはあるのか町長の見解を伺いたい。</p>	町長	<p>ハーベスタの請負料金の助成につきましては、行政・久米島製糖・JA久米島支店の三者で協議したことはございません。行政としては、現在機械化による収穫率を上げる為、ハーベスタの導入に取り組んでおり、請負料金の見直しや助成につきましては、今後の課題となっております。また、個別に助成が出来るか確認したところ、久米島製糖は、行政とJA久米島支店の状況による。JA久米島支店は助成は出来ないとの回答でした。このような状況から、現在のところ三者での助成は厳しいと思われる。</p>	産業振興課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	4崎村 正明	小中学校の教室の冷房設備について	<p>去った、平成31年2月5日の臨時議会において緊急性を必要とする補正予算で可決され、クーラー設置が予算化されました。工期については、11月までに設置完了とのことですが早めに工事発注し、島内の業者に分離発注する等して、猛暑で勉強する子供達の為早めに全てを設置する考えはあると思うが、教育長の見解を伺いたい。</p>	教育長	<p>空調設備設置工事を発注する前に、実施設計を発注しその中で、クーラー及び室外機の設置場所、電気容量などの調査を行い、その設計を基に空調設備設置工事を発注する流れとなっています。</p> <p>そこで、早期に、子どもたちが快適な教室環境で授業が受けられるように、空調設備設置工事を発注する際には、できるだけ分割発注を行うことで工期を早められるよう進めてまいります。</p>	教育課
10	7仲村 昌慧	女性の登用について	<p>世界経済フォーラムが年末に発表した「男女格差報告」で、日本は149カ国中110位である。その要因として、管理職の女性比率が低いことと、女性議員や閣僚が少ないことが上げられている。</p> <p>本町の管理職の女性比率と県内市町村の平均比率を伺う。また、管理職の女性登用について町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>現在、本町の管理職の女性登用率は4.8%、県内市町村の平均は12.7%となっております。</p> <p>管理職の女性登用については、職員の女性割合が26%となっていることから、今後は増えてくると考えています。そのためには、さまざまな分野への人事配置や女性職員が能力を発揮できる機会を創出し、女性登用の割合を高めていきたいと考えています。</p>	総務課
11		女性議会について	<p>女性議会を開催し、女性が政治に参加することによって、女性の視点での意見を聞くことができ、女性議員の誕生に繋がることが期待できる。女性議会については町婦人会も前向きである。女性議会を開催できないか町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>女性の意見を町政に反映させるためにも、女性が政治に参画することは大事だと考えています。</p> <p>平成31年度において「久米島町男女共同参画推進条例」と条例に基く基本計画の策定を予定しております。</p> <p>基本計画策定では、審議会を設置し女性登用について効果的な取り組みを調査研究する予定ですので、女性議会の開催については審議会で検討していきます。</p>	総務課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	7仲村 昌慧	大田昌秀先生の顕彰事業について	平成29年9月議会で「大田昌秀先生の顕彰事業をやるにあたっては全県的な組織にして広くやっていこうという提案があった。大田昌秀先生の顕彰事業を立ち上げる前に、まずは大田昌秀先生の顕彰事業の方向性等を検討した上で準備委員会を立ち上げましょう。」と答弁しているが、事業の方向性は検討されているか、準備委員会の立ち上げは、事業の進捗状況を伺う。	町長	故大田昌秀氏の顕彰事業につきまして、全県的な組織にする必要があるとの関係者の共通認識のもと、期成会準備委員会を設置し進めることで調整を進めてきましたが、事業内容の方向性について関係者の合意形成に時間がかかり未だ設置に至っておりません。 今年6月に3回忌を迎えるに当たり、「大田昌秀さんを語るシンポジウム」が開催されますので、その実行委員会やシンポジウム等を通して合意形成を図ってまいります。	総務課
13		久米島マラソンについて	昨年の久米島マラソン大会でアンケートを行っているが、アンケートの結果とマラソン大会の見直しがあるか伺う。	町長	アンケートについては、開催時期や種目等に関する質問も含め、実施しました。結果としましては、約8割の方が、現行の開催内容を希望しております。大会の見直しについては、30回の節目を終え、今後ますます充実した魅力ある大会へと発展させるための議論を行う機会だと捉えています。アンケート結果も含め、これまでの30回を振り返りながら成果と課題等を整理し、実行委員会において検討・協議を行ってまいりたいと考えております。	商工観光課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14	10 玉城 安雄	平成31年度施政方針について	<p>農業の振興から</p> <p>①農業従事者の高齢化に伴い、担い手不足などで経営が厳しい状況を打開するため青年就農給付金や農地中間管理事業により担い手に農地集積を進めて課題解決に取り組むとしているが、継続事業である両事業の今年度までの実績を伺う。</p> <p>②サトウキビの振興については毎年増産、増収に向け様々な施策をとっているが増産に至っていない。増産については機械化の推進が最も有効であり、今後の展開について見解を伺う。</p> <p>③畜産について優良雌牛導入事業や自家保留事業など助成があり品質の向上に寄与していると思うが、母牛の増頭についての現状は。</p> <p>④交通の確保から高速船導入について引き続き取り組むとしているが、どのような取り組みをしているか。</p> <p>⑤久米島高校魅力化について離島留学生との交流を通じてお互い刺激しあい進学率も向上し更なる魅力化に向け取り組んでいるところですが、逆に地元から島外高校に進学する生徒も増えていると聞く。久米島高校存続を目的としたこの取り組みについて今後の考え方を伺う。</p> <p>⑥環境美化から町道。観光施設、公園のほか、管轄外の県道の植栽。植樹樹の管理についての見解を伺う。</p>	町長	<p>①青年就農給付金及び農地集積について 青年就農給付金の実績は、平成25年度から平成30年度まで31名が給付を受けております。 農地集積につきましては、出し手が27名で26.4ha。受け手が25名で24.2ha。2.2haを農地中管理機構が現在保有しております。</p> <p>②さとうきびの振興について 現在町内でハーベスターが29台稼働しております。2月に国の補正で新規に2台の導入内示が来ております。今後も機械化による収穫率向上に向けて、機械導入を推進していきます。</p> <p>③畜産について 母牛の増頭は優良繁殖雌牛導入事業と優良繁殖自家保留牛支援補助金により、平成26年度の1,989頭から、順調に増頭され平成30年度は2,551頭の実績でございます。</p> <p>④高速船導入について 高速船導入支援については沖縄県から非常に困難との回答を得ていますが、平成27年度の町民及び旅行者等を対象にした調査で利用者ニーズのあることが報告されており、支援制度適用に向けて引き続き要望を行っているところです。支援制度適用の見通しが立てば財源確保及び収支計算が可能となることから、運航事業者との協議を重ねて導入判断を行いたいと考えています。</p> <p>⑤久米島高校魅力化について 久米島高校からの国立大学、県外私立大学</p>	<p>①産業振興課</p> <p>②産業振興課</p> <p>③産業振興課</p> <p>④プロジェクト推進課</p> <p>⑤企画財政課</p> <p>⑥環境保全課 建設課、</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
14					<p>の進学率は向上しているものの、本町中学生の島外進学も年々増えていることから、中学生を対象にアンケートを実施しておりますので、分析結果を踏まえ、今後の久米島高校存続に向けた施策を検討してまいりたいと考えております。</p> <p>⑥ 本町では、花いっぱいコンクールを実施し、皆の目にふれる沿道、公的場所での花を育成している個人及び団体を表彰することにより環境美化の推進に努めたいと考えています、また公園、観光施設については随時苗の植え付けを行います。</p> <p>県道の植樹柵の管理につきましては、本町が沖縄県から県道維持管理業務として受託しております。年間の管理において、区間によって異なりますが、路面清掃及び草刈り作業を3回行っております。その他、特別な対応が必要な場合には、建設課と環境保全課において調整を図りながら作業を実施しております。</p> <p>町道の植樹柵についても状況に応じて清掃を行っているところでございます。</p>	
15	6赤嶺 秀徳	道路環境の整備について	<p>その1、 安全対策について</p> <p>平成30年3月定例会に於いて、字儀間在の宮平商店から儀間漁港までの間と県道89号から旧久米島中学校までの区間の安全対策について質問した。執行部から安全対策の標識・看板の設置が可能か、警察・公安委員会との調整を進めているとの答弁でした。3点について伺います。</p> <p>(1) 二区間の現場調査は実施したか。</p> <p>(2) 警察・公安委員会との協議は行ったか、その結果は。</p> <p>(3) この二区間は町道と認定されているか、</p>	町長	<p>その1</p> <p>安全対策については、現場調査を行い警察と調整を行った結果、両区間とも車の通行量が多いとは認められないため、通行制限は厳しいとの回答でした。現場の状況からは、注意喚起の看板設置やパークゴルフ場利用者への漁港関連道利用などを呼びかける方法で対策を進めていきます。なお、二区間とも町道の認定路線です。</p> <p>その2</p>	<p>1. 総務課</p> <p>2. 総務課</p> <p>3. 建設課</p>

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
15			<p>認定されているのであれば道路法上、道路管理者が危険防止のため、通行を制限することが可能と思うが、その対策を講ずることはできないか。</p> <p>その2、カーブミラーの設置について、車で町内を移動していると、カーブミラーの設置が必要であると思われる箇所が数多く見受けられる。交通事故の多発地点である県道89号の沖縄電力久米島支店前の久米島製糖入口の交差点や山手側の農道から県道89号バイパスを横断する危険な交差点が数ヶ所ある。このような場所を把握してカーブミラー等の安全対策が必要である。この事は、一部の地域だけではなく町全体全域の危険箇所の点検と対策が必要となるが、どの様な対策を講ずる事ができるのか伺う。</p> <p>その3、側溝及びグレーチング等の整備促進について、 この質問については、以前にも同僚議員からの質問がありました。車が通るたびに側溝やグレーチングが軋みその音が付近住民に多大な迷惑をかけている。側溝やグレーチング等の問題について住民からの要望についてどの様に対策を講ずる事ができるのか伺う。</p>		<p>カーブミラー設置については、危険個所の把握に努めると共に、予算の範囲内で計画的に整備していきます。</p> <p>その3 側溝及びグレーチングの軋み音に関しては、住民から寄せられた要望や情報等があれば速やかに状態を確認しております。 金属音の原因の殆どが経年劣化による損壊や歪みによって生じた空隙が原因となっております。空隙への緩衝材の取り付けや欠落したボルトの再固定など、予算の範囲内において対策を講じているところでございます。</p>	
16	6赤嶺 秀徳	儀間漁港の整備について	<p>この質問については、平成30年12月定例会に於いても儀間漁港の拡張について質問しました。町は、儀間漁港の拡張について検討する必要があるとの見解でした。しかし、儀間漁港の拡張がこの先、何年を要するか検討もつかない状況を鑑みると港内設備の施設整備を優先すべきと考える、よって3点について伺う。 (1) 浮き棧橋の設置について (2) 風防壁の設置について (3) 防暑施設の設置について</p>	町長	<p>ご質問の3施設につきましては、漁民の漁業活動の負担軽減や安全性の向上に資する施設だと考えております。 施設の必要性につきましては、3月に地元漁民を対象に儀間漁港内における漁船の隻数や大きさ、陸揚げ作業の状況や漁船及び漁具の修繕状況など実態調査を実施する予定でございます。 調査結果に基づきまして事業計画を策定し、国及び県の事業採択に向けて取り組ん</p>	建設課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
16			この3件の設備は漁港における必要不可欠な設備である。特に浮き棧橋は潮の干満の差が大きい程、その必要性を痛感するものである。現在、個人個人でアンカーを投入してロープで係留している状況であるが、浮き棧橋が設置されると泊地の狭隘も確実に解消されるものと思う。町の見解を伺う。		でまいります。	
17	6赤嶺 秀徳	パークゴルフ場の稼働状況について	パークゴルフ場の稼働状況について3点伺う。 (1) パークゴルフ場全体の年間の稼働状況について (2) 新設されたコースの状況について (3) 新築された避難所の現在の状況と今後の利用についてどの様な計画か。	町長	(1) 年間通して稼働し平成29年度実績は24,072名のプレー人数でございます。 (2) 新設のコースのみのチケットはなく、全コースに使われるため、このコースのプレー人数は把握できていません。 (3) 休憩所の現在の状況としては、各種団体等の会議室と大会等の休憩所として利用しております。今後の利用の推進は引き続き休憩所としての位置づけをして各種団体等への多目的会議室としても周知を行い、利用率を上げるよう努力いたします。	環境保全課
18		平成30年度の施政方針について	平成30年度の町長の施政方針がありました。どの様な成果をあげられたか伺う。	町長	平成30年度の施政方針で述べました各種施策について、ソフト事業からハード事業まで幅広く目標を掲げ取り組んでおりますので、主な成果としてご報告させていただきます。農業機械等支援事業では8台のハーベスターの導入や小中学校の全国学力学習状況調査での総合正答率の向上、ファミリーサポートセンターの開設、継続要請してまいりましたフェリーの更新決定、兼城港旅客ターミナル整備事業の採択など平成30年度に掲げた目標は一定の成果を上げているものと考えております。	企画財政課

平成31年3月定例会一般質問回答書

議席番号	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
19	9棚原 哲也	施政方針施策の交通の確保について	本年7月より就航予定の新造フェリーの買い取り支援について ①新造船の建造費は ②県、事業者、町村の負担割合及び本町の予定支援額は？	町長	①新造船の建造費につきましては、22億1千5百万で、②負担割合が、国64%県8%町村8%事業者20パーセントとなっております。本町の予定支援額につきましては、1億5千62万円となっております。	商工観光課
20		町営バスの停留所の整備について	町営バスの利用状況を調査し、高齢者の利用が多いバス停留所への座って待てるようなベンチの設置と、イーフ情報プラザ前及び泊フィッシャリーナ前の停留所は観光客の利用が多く大きな荷物を持って待機する利用者が多いので、屋根付きの停留所の設置が必要ではないか。	町長	バス停の整備につきましては、利用状況等を分析・調査しながら取り組んでおり、引き続き取り組んでまいります。また、停留所への上屋等設置につきましても同様に取り組みながら、県へも要望を行っております。今後、利用状況等の分析・調査結果を整理し、整備計画の策定、予算の確保に努めながら整備に取り組んでまいりたいと考えております。	商工観光課
21		公共施設トイレにおけるベビーチェア及びおむつ交換台設置について	公共施設におけるベビーチェア及びおむつ交換台の設置は必要ではないか？	町長	公共施設におけるベビーチェア及びおむつ交換台は必要だと考え取り組んでまいりましたが、設置スペースの確保ができないことなどから設置には至っておりません。しかしながら最近の製品はコンパクトになり、小スペースでの設置も可能な製品がありますので、設置に向け検討してまいります。	総務課
22		学校施設における設備点検と早急な対応について	町内における学校等施設の安全点検及び修理必要箇所の把握はされているか？子どもたちが過ごしやすい環境を常に整える体制を	教育長	学校施設の安全点検は、町内の全ての小中各学校において定期的に学校施設の安全点検表に基づいて行っています。その際に修繕箇所が確認されましたら、当該学校から修繕見積書及び学校施設修繕要望書を教育委員会へ提出されますので、修繕内容を再度確認した上で、早急に修繕を行っております。又、児童生徒及び教職員に危険を伴うと思われる施設の修繕が出た場合は、都度教育委員会で現場確認をし優先的に修繕を行っております。	教育課

